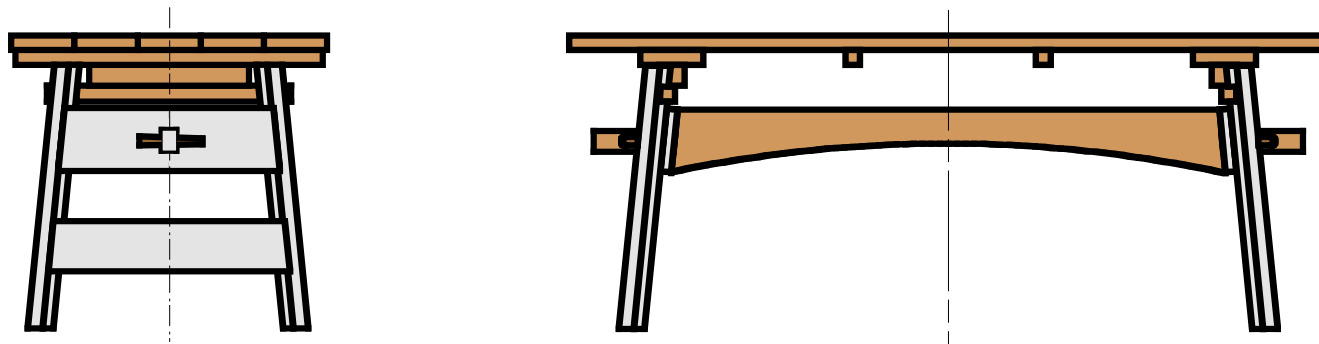


ワークショップ テーブル TLE-180075 組立て説明図

完成イメージ図



組立てには、プラス・ビスを留めるプラス・ドライバー、
鼻栓を打ち込むための小さめの木槌をご用意下さい。

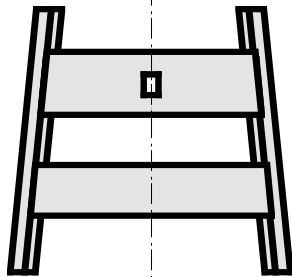
ワークショップ テーブル TLE-180075 組立て説明図

部品確認

天板

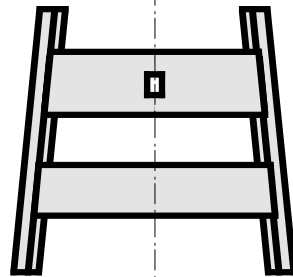


① 脚1



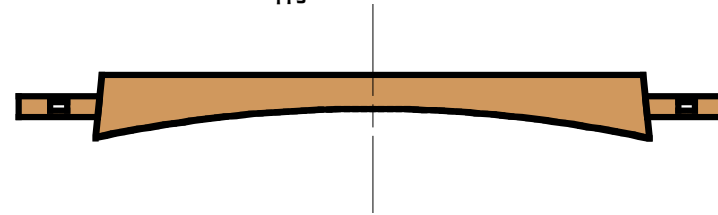
⑪
鼻栓11

② 脚2



⑫
鼻栓22

桁



ステンレスビス×4本

ワークショップ テーブル TLE-180075 組立て説明図

Step 1

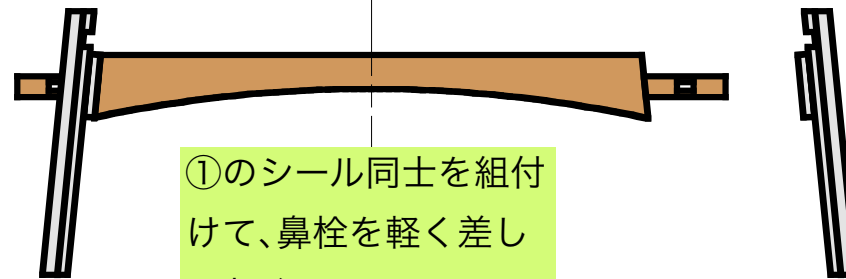
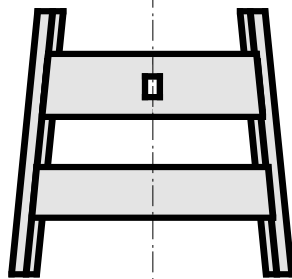
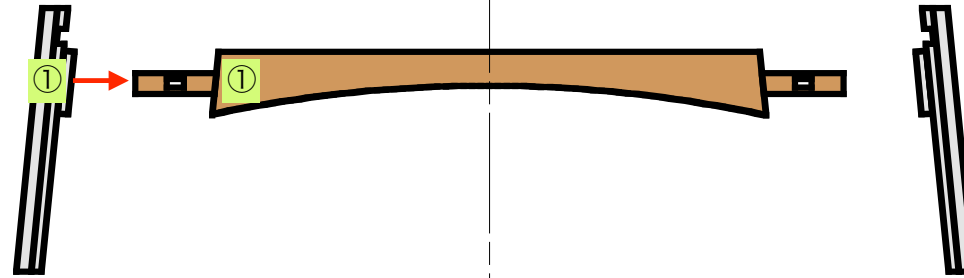
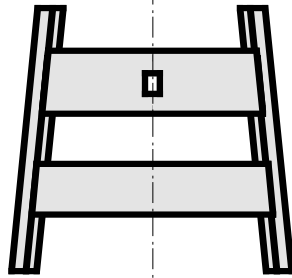


天板を床や安定する台の上に、天板を下向きに置く

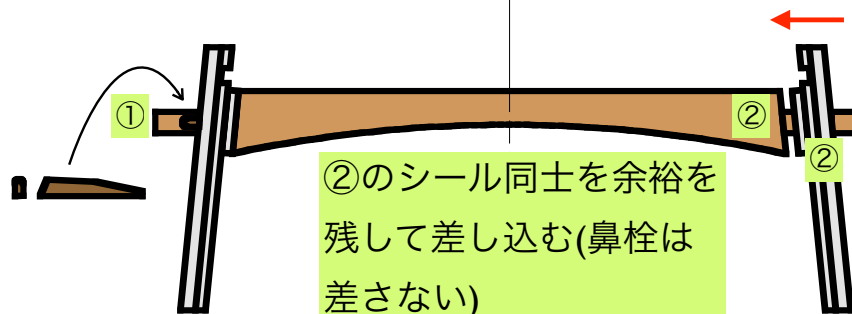
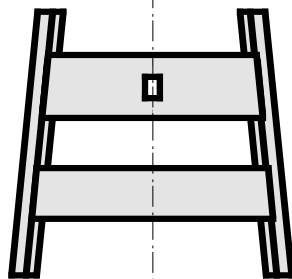
ワークショップ テーブル TLE-180075 組立て説明図

Step2

脚と桁を仮り組みする



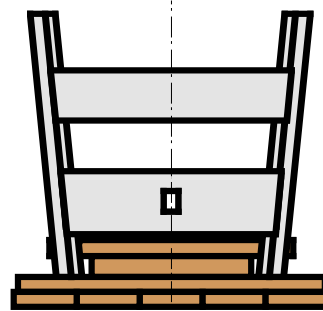
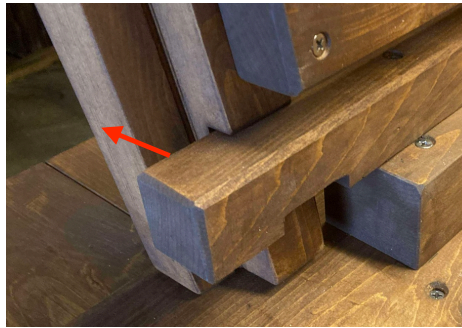
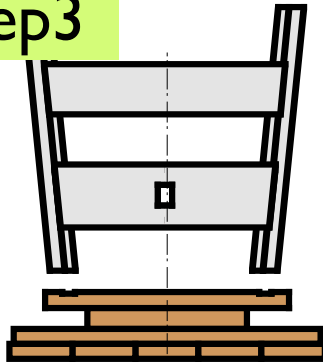
①のシール同士を組付けて、鼻栓を軽く差ししておく



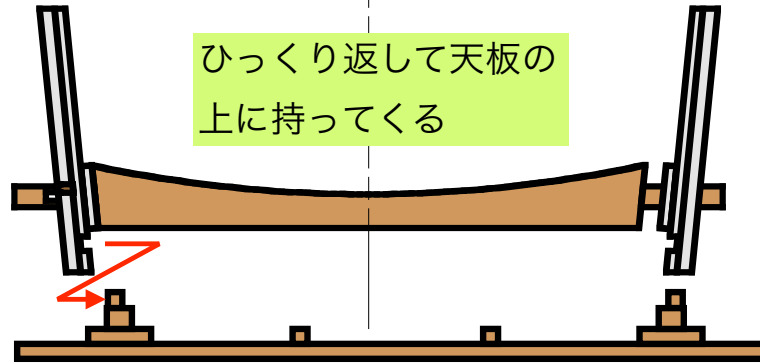
②のシール同士を余裕を残して差し込む(鼻栓は差さない)

ワークショップ テーブル TLE-180075 組立て説明図

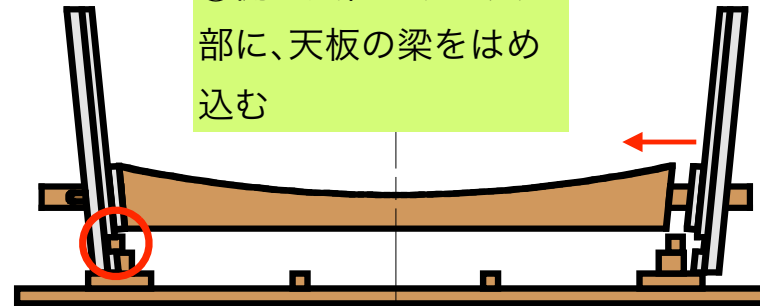
Step3



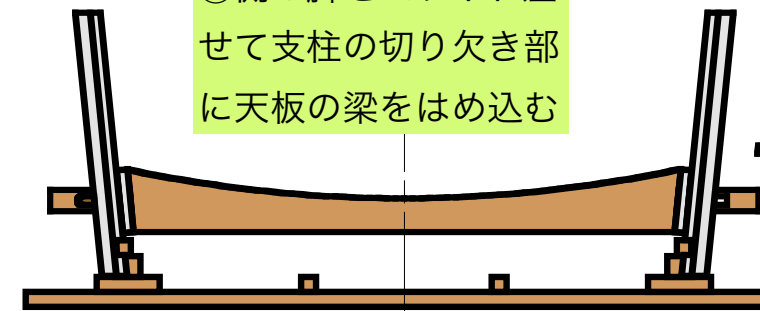
ひっくり返して天板の上
上に持ってくる



①側の支柱の切り欠き
部に、天板の梁をはめ
込む



②側の脚をスライド差
せて支柱の切り欠き部
に天板の梁をはめ込む

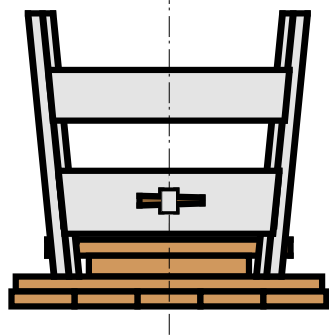


②側にも
鼻栓を入
れる



ワークショップ テーブル TLE-180075 組立て説明図

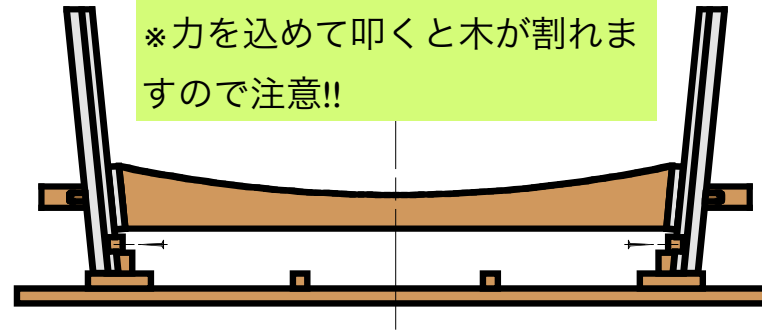
Step4



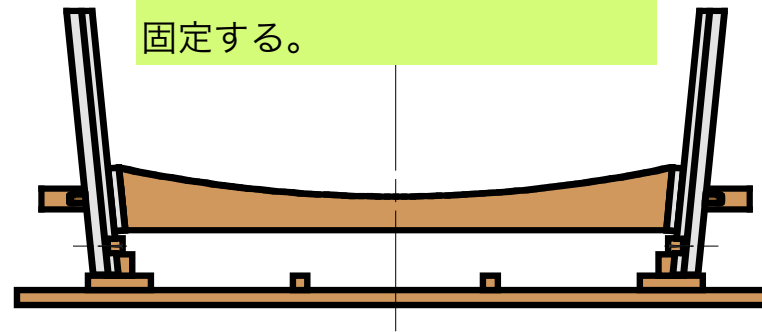
ビスを打つときに、部材同士が密着するように、指で寄せて打ち込んで下さい。



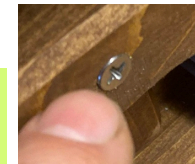
①、②の鼻栓をしっかりと差し込み、木槌で軽くたたき込む。
※力を込めて叩くと木が割れますので注意!!



天板の梁と脚部を4カ所ビスで固定する。



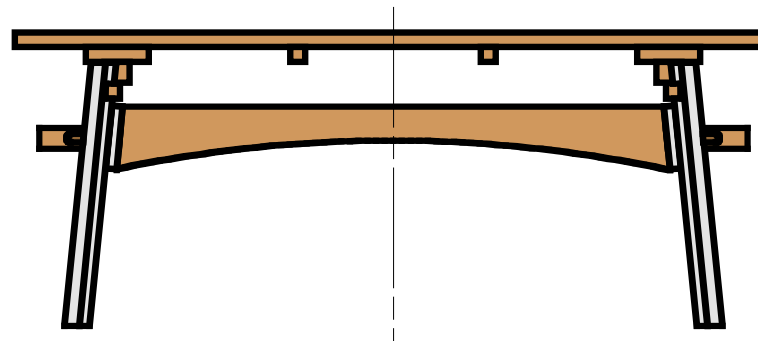
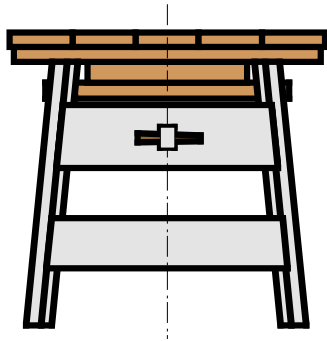
加重を支えるものではなく、ブレ留めなので、ビス頭が多少残るくらいの締め付けで良い。



ワークショップ テーブル TLE-180075 組立て説明図

Step5

ひっくり返して、鼻栓がしっかり留まっているか確認して完成です。



鼻栓は木部の膨張・収縮と振動などにより緩んできます。時々点検してご使用下さい。

このテーブルは、桁による竿差し構造のテーブルのため、四つ枠造りのテーブルよりは剛性が高くないため、ある程度の揺れは生じます。揺れるからといって鼻栓を強く差し込みすぎないようにご注意下さい。破損の恐れがあります。